

コスモ石油 2002年度中間決算説明会

2002年11月20日
代表取締役副社長
木村 彌一

連結決算について 経営成績

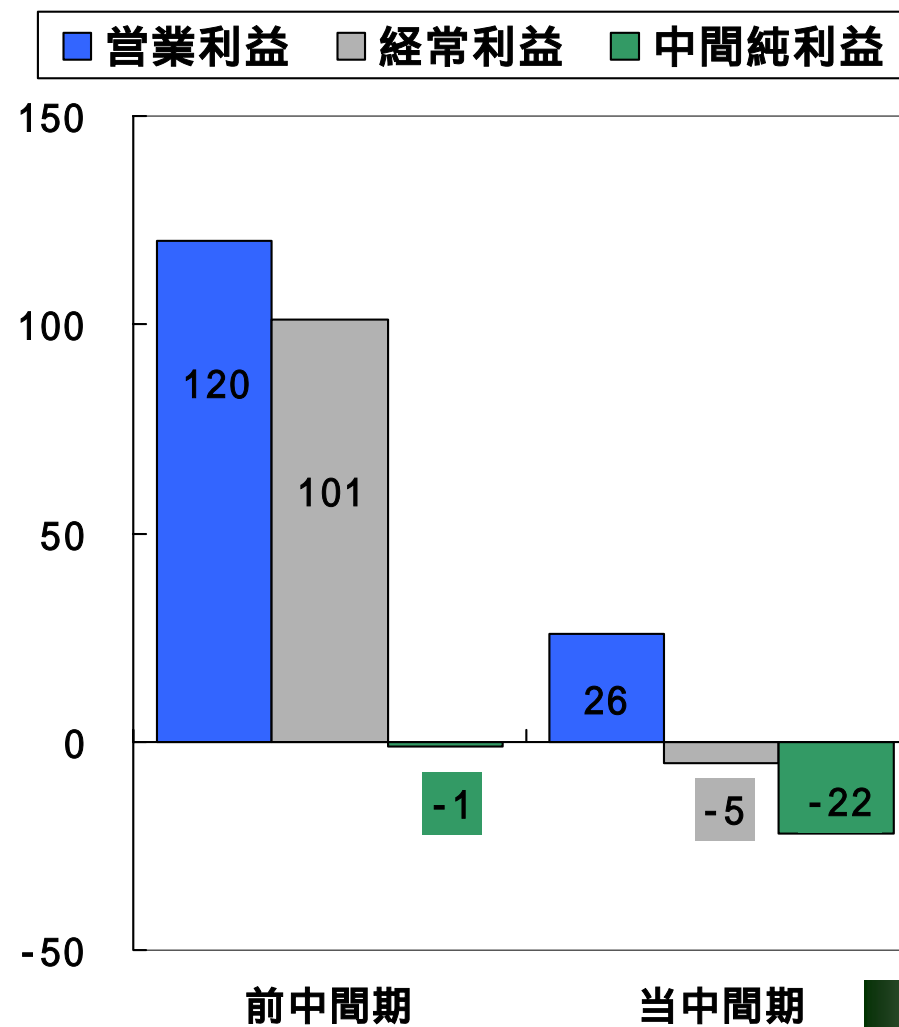
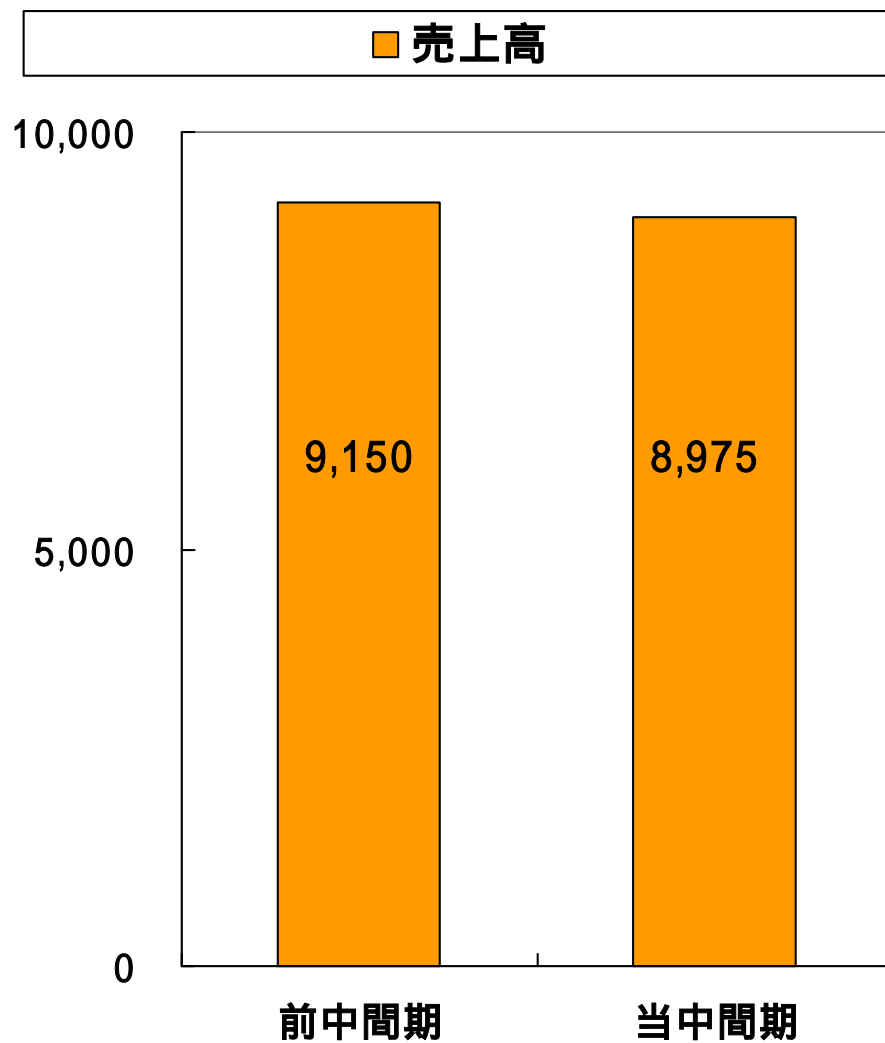
1

単位：億円

	当中間期	前期比	対前期比
売上高	8,975	176	1.9%
営業利益	26	94	77.7%
営業外損益	32	13	-
経常利益	5	107	-
特別損益	8	46	-
中間純利益	22	21	-

連結決算について 経営成績

単位：億円



連結決算について 財政状態

3

単位：億円

	当中間期末	前期末比
総資産	11,920	502
株主資本	1,880	63
株主資本比率	15.8%	0.2%
有利子負債	5,559	73
有利子負債比率	46.6%	2.4%

連結決算について **キャッシュフロー**

4

単位：億円

	当中間期
営業活動によるキャッシュフロー	411
投資活動によるキャッシュフロー	65
財務活動によるキャッシュフロー	44
期末のキャッシュ残高	301

連結決算について 連結の範囲

単位：社

	前期	増	減	当中間期
連結子会社	24	● 2	0	26
持分法適用の子会社	9	1	● 2	8
持分法適用の関連会社	3	0	0	3

新規連結

米国コスモ石油
コスモ石油技術研究所

販売子会社の合併によるもの

連結決算について 営業利益94億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比	単独	連結会社
売上高	8,975	176	166	10
売上原価	8,309	31	96	65
販管費	638	51	12	39
営業利益	26	94	58	36

連結会社減益36億円の主な要因

コスモ石油ガス	16億円
アブダビ石油	12億円

販管費51億円減少の主な要因

合理化・効率化及び連結会社間取引の消去	51億円
---------------------	------

連結決算について 経常利益107億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比	単独	連結会社
営業利益	26	94	58	36
営業外損益	32	13	9	4
経常利益	5	107	67	40

営業外損益13億円悪化の主な要因

金融収支	2億円
為替差益	19億円
持分法投資損益	1億円
雑損益他	5億円

連結会社減益40億円の主な要因

アブダビ石油	27億円
コスモ石油ガス	16億円

連結決算について 中間純利益21億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比	単独	連結会社
経常利益	5	107	67	40
● 特別損益	8	46	52	6
● 中間純利益	22	21	10	11 ●

特別損益46億円改善の主な要因

前中間期の投資有価証券評価損処理 51億円

中間純利益減益11億円の主な要因

コスモ石油ガス 9億円
 アブダビ石油 5億円

連結決算について 総資産の増減

単位：億円

	当中間期末	前期末比
総資産	11,920	502

資産総額、負債・資本総額 502億円減少の要因

手元資金の圧縮	441億円
売掛債権等の減少	109億円
その他	49億円
合計	502億円

手元資金 前期末比 441億円減少の要因

有利子負債の増加(主に輸入金融の増加)	73億円
前期末休日の影響(揮税・石油税)	374億円
総平均在庫の影響(在庫増)	84億円
債権債務の増減他	56億円
合計	441億円

連結決算について **キャッシュフロー**

単位：億円

	当中間期	前期末比
● 営業活動によるキャッシュフロー	411	-
投資活動によるキャッシュフロー	65	-
● 財務活動によるキャッシュフロー	44	-
期末のキャッシュ残高	301	439

営業活動によるキャッシュフロー

揮発油税等の期ずれによる支払い増

374億円

総平均在庫の影響

84億円

投資活動によるキャッシュフロー

固定資産の取得・処分

78億円

財務活動によるキャッシュフロー

長・短借入金の返済、社債の償還

277億円

長・短借入金の増加、社債の発行

346億円

単独決算について 経営成績

11

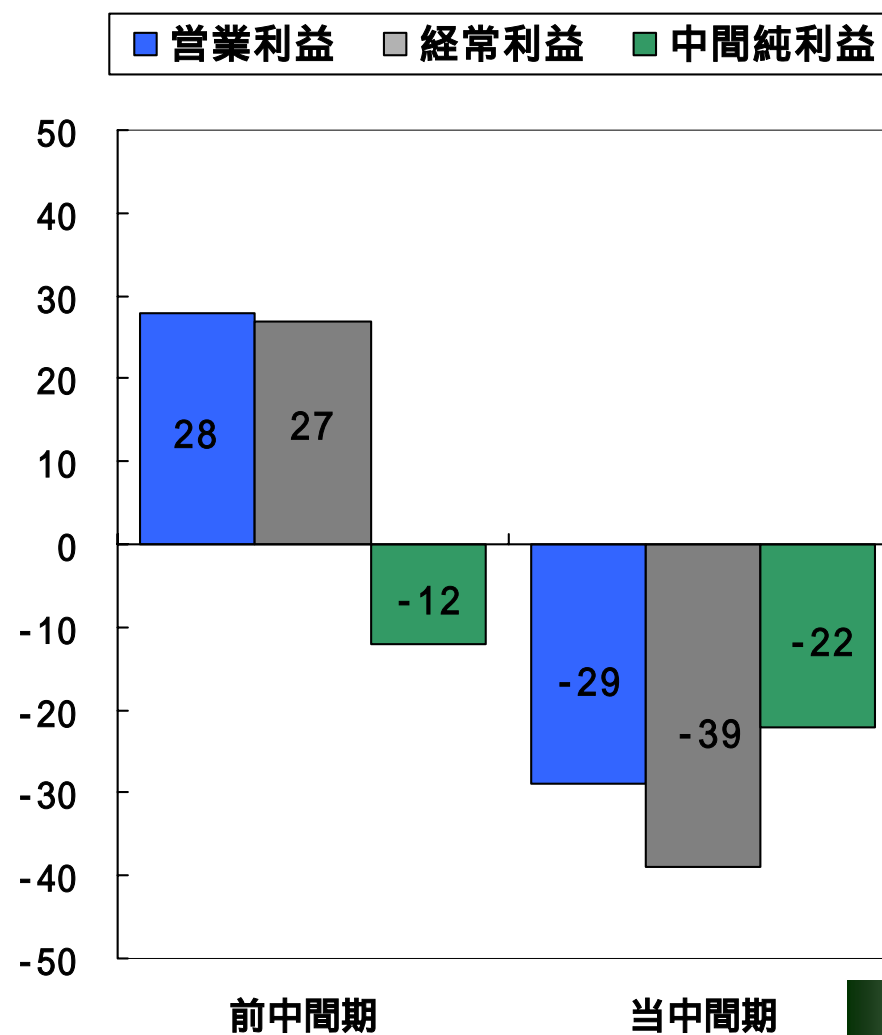
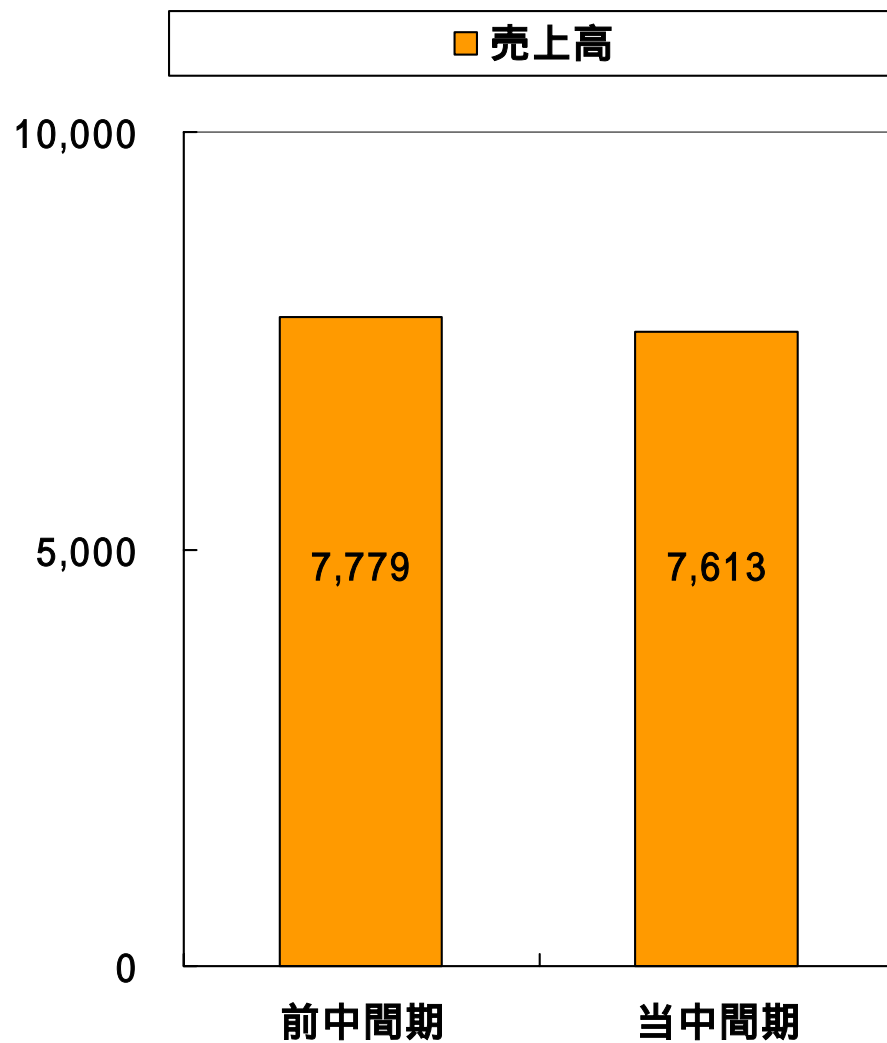
単位:億円

	当中間期	前期比	対前期比
売上高	7,613	166	2.1%
営業利益	29	58	-
営業外損益	9	9	-
経常利益	39	67	-
特別損益	3	52	-
中間純利益	22	10	-

中間配当 3円を継続

単独決算について 経営成績

単位: 億円



単位：億円

	当中間期末	前期末比
総資産	10,448	479
株主資本	1,622	60
株主資本比率	15.5%	0.1%
有利子負債	4,990	140
有利子負債比率	47.8%	3.4%

単独決算について 営業利益58億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比
● 売上高	7,613	166

売上高166億円減の主な要因

販売価格の下落 217億円

25,130円/KL 1,070円/KL

販売数量の減少 23億円

総販売数量 20,210千KL 91千KL 前期比 99.6%

内需燃料油 13,685千KL 12千KL 前期比 100.1%

ガソリン販売数量増加に伴う揮発油税売上の増加 74億円

単独決算について 営業利益58億円減益の要因

単位: 億円

	当中間期	前期比
売上高	7,613	166
● 売上原価	7,205	96

売上原価96億円減少の主な要因

売上原価の下落(単価要因)

77億円

23,610円/KL

380円/KL

	当中間期	前中間期	前期比
原油受入価格 FOB	24.85\$/BBL	24.92	0.07
為替	124.47円/\$	122.50	1.97(円安)
税込価格	22,634円/KL	22,398	236

数量の減少要因

29億円

揮発油税原価の増加

74億円

たな卸資産の総平均法による在庫評価の影響

64億円

当中間期

前中間期

84億円

20億円

差引き64億円

単独決算について 営業利益58億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比
売上高	7,613	166
売上原価	7,205	96
販管費	437	12
営業利益	29	58

販管費減少12億円の主な要因

「価値創造21」における合理化効率化

12億円

単独決算について 経常利益67億円減益の要因

単位:億円

	当中間期	前期比
営業利益	29	58
● 営業外損益	9	9
経常利益	39	67
特別損益	3	52 ●
中間純利益	22	10

営業外損益 9億円減の主な要因

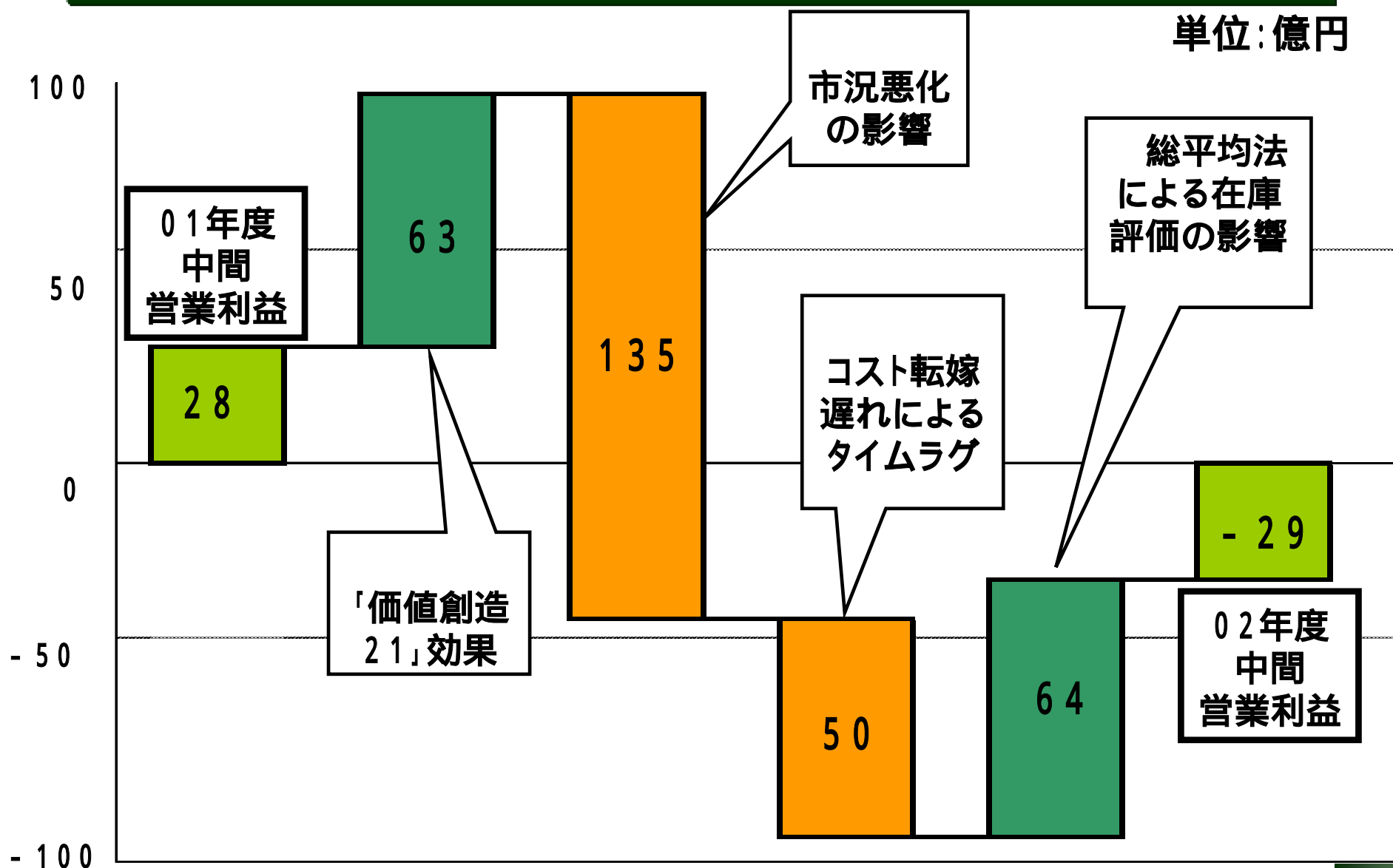
金融収支の減 (関係会社配当金などの減少)	10億円
その他営業外損益	1億円

特別損益52億円改善の主な要因

前中間期の投資有価証券評価損処理	49億円
------------------	------

単独決算について 営業利益58億円減益の要因分析

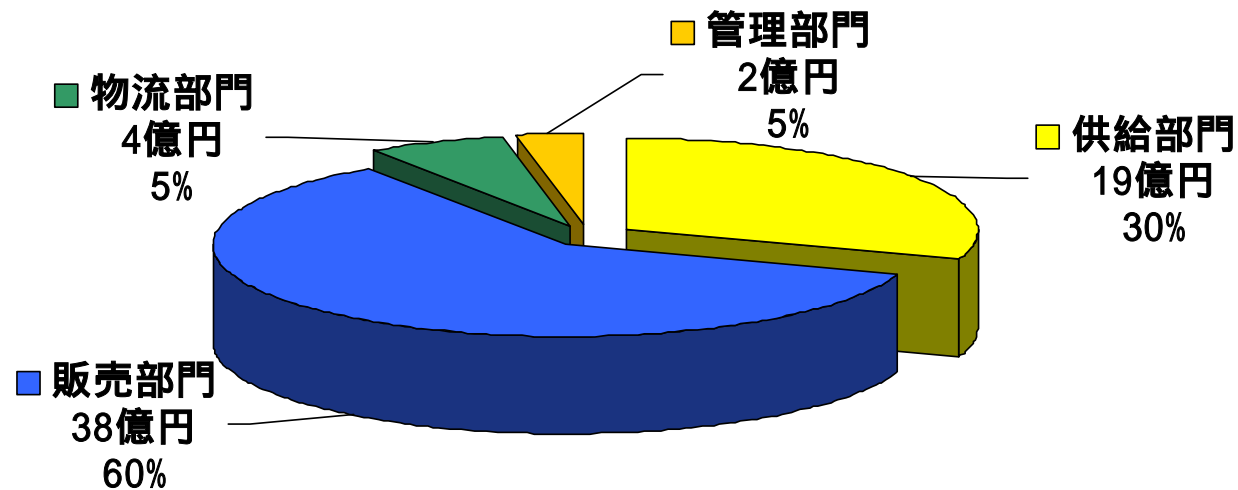
単位：億円



単独決算について 営業利益58億円減益の要因分析

「価値創造21」効果63億円の内訳

「価値創造」	44億円	「合理化」	19億円
供給部門	11億円	8億円	
販売部門	33億円	5億円	
物流部門	-	4億円	
管理部門	-	2億円	



単独決算について 営業利益58億円減益の要因分析

20

市況の影響 185億円の内容

国内需要の低迷、需給環境の悪化による影響	135億円
コスト転嫁遅れによるタイムラグ (先決め価格の適用及び産燃油種タイムラグ)	50億円

たな卸資産の総平均法による在庫評価の影響 64億円の内容

- 当中間期の影響(売上原価の押し下げ要因)	84億円
- 前中間期の影響(売上原価の押し下げ要因)	20億円
差引き	64億円

~ より

営業利益 58億円減益

単独決算について 2002年度業績予想 - 1

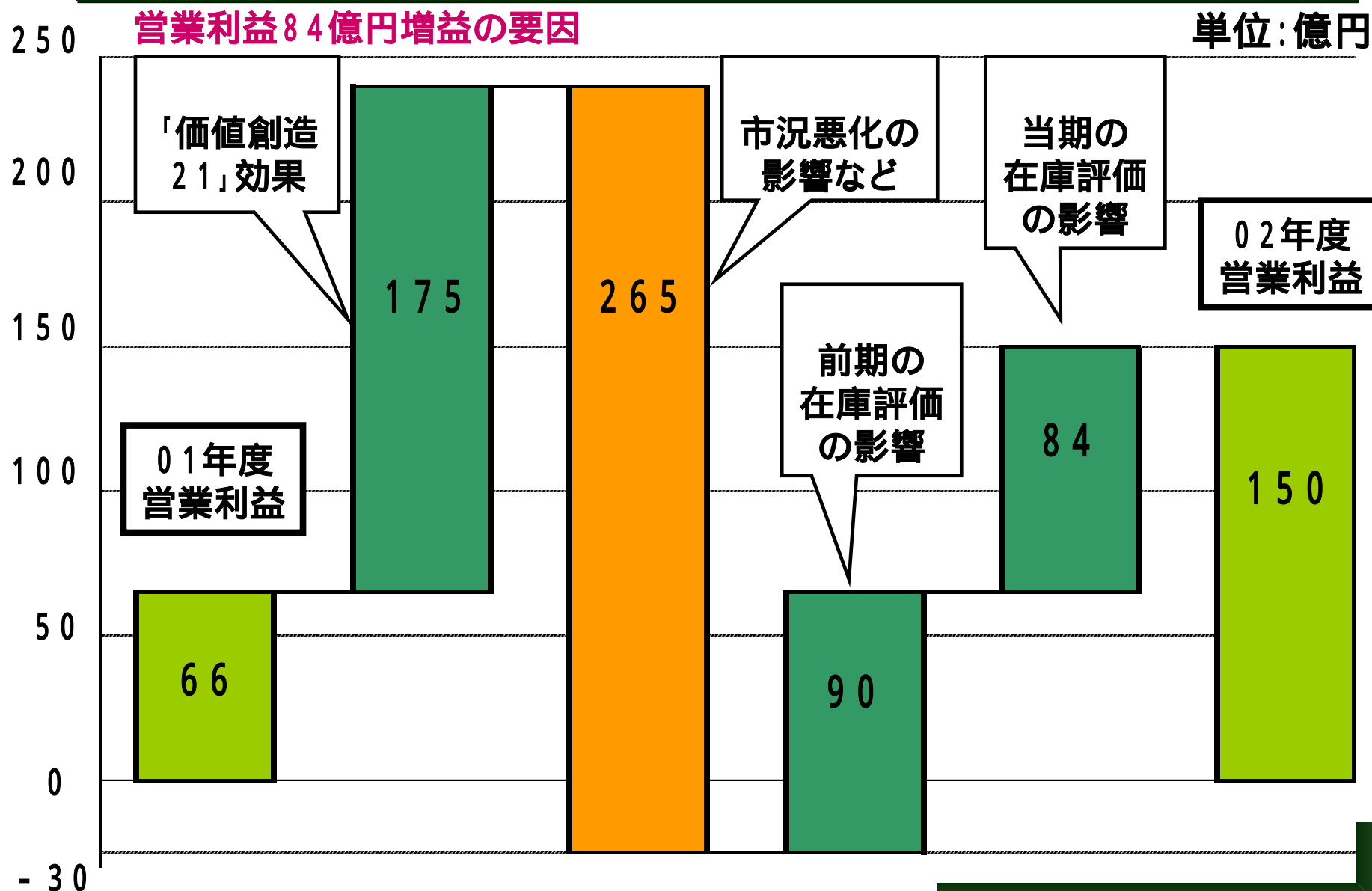
単位: 億円

	通期予想	前期	前期比
売上高	15,900	15,634	266
営業利益	150	66	84
営業外損益	40	26	14
経常利益	110	40	70
特別損益	10	207	197
当期純利益	60	97	157

前提

原油価格(FOB) 25.0 \$ / BBL
 為替レート 120円 / \$
 販売数量(内需燃料油) 98.1% (通期)
 総販売数量 42,300千KL (前期比97.4%)
 「価値創造21」効果 175億円 / 年

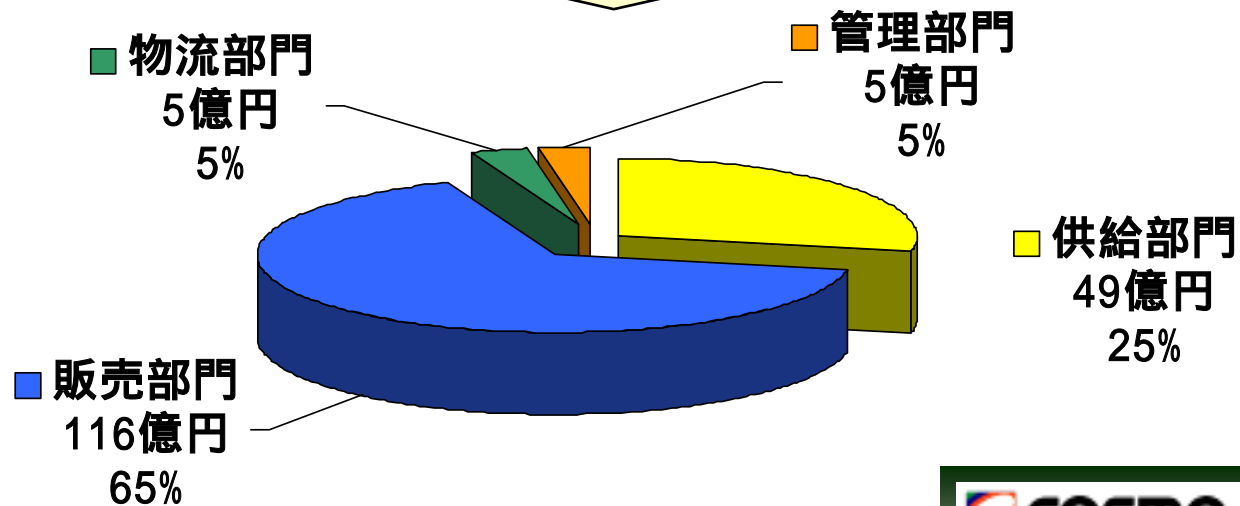
通期 配当 6円
 一株あたり当期純利益 9円50銭



「価値創造21」効果175億円の内訳

「価値創造」	133億円 (44億円)	「合理化」	42億円 (19億円)
供給部門	26(11)億円		23(8)億円
販売部門	107(33)億円		9(5)億円
物流部門	-		5(4)億円
管理部門	-		5(2)億円

(カッコ内は上期実績)



連結決算について 2002年度業績予想 - 1

単位：億円

	通期予想	前期	前期比
売上高	18,400	18,138	262
● 営業利益	280	220	60
営業外損益	60	47	13
経常利益	220	172	48
特別損益	21	191	170
当期純利益	75	51	126

セグメント別業績予想

石油事業	200億円
石油開発事業	75億円
その他の事業	5億円
<hr/>	
営業利益	280億円

販売の状況

	当中間期	前期比	対前期比
総販売数量 千KL	20,210	91	99.6%
内需燃料油 千KL	13,685	12	100.1%
内 マス数量 千KL	8,538	241	102.9%
マグナムレシオ	18.9%	0.9%	-

原油処理、価格、為替

	当中間期	前期比	対前期比
受入原油代(FOB)\$/BBL	24.85	0.07	-
為替レート¥/\$	124.47	1.97	-
受入原油代(税込)¥/KL	22,634	236	-
原油処理量(自工場)千KL	12,913	45	99.7%
中間四品得率	47.7%	1.0%	-

設備投資・減価償却費(連結)

	当中間期	前中間期	02年度予想
内部留保	41	21	39
減価償却費	116	118	232
設備投資	111	143	290
フリーキャッシュフロー	36	46	19

設備投資・減価償却費(単独)

	当中間期	前中間期	02年度予想
内部留保	40	31	48
減価償却費	89	94	175
設備投資	82	133	227
フリーキャッシュフロー	33	70	4

注: 2001年度より設備投資額に無形固定資産・長期前払費用の投資額を含めて表示

人員数推移							実績
	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	02/9末
石油	3,395	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,860
グループ	6,103	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,850

油槽所数推移							実績
	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	02/9末
DT数	61	57	52	45	41	39	39

SS数推移							実績	計画
	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	02/9末	03/3末
社有	1,193	1,172	1,105	1,065	1,010	977	972	982
自己	5,855	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,416	4,172
合計	7,048	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,388	5,154

上記のうち、セルフSS数

	97/3末	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	02/9末	03/3末
社有	0	0	3	6	16	77	148	250
自己	0	0	2	2	7	32	63	100
合計	0	0	5	8	23	109	211	350